

## 1 時間雨量の危険度

下表は、1 時間雨量の危険度を示しています。このような豪雨が発生したら、いち早く安全な所に避難することが重要です。

また、豪雨の発生が夜などで安全な場所に避難することが困難な場合は、自宅の2階など、自宅の中でも安全な所に避難することも効果のある避難行動です。



### ▽ 1 時間雨量の危険度

危険度	1 時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
↓	10 ~ 20mm	やや強い雨	ザーザーと降る	長く続くときは注意が必要
	20 ~ 30mm	強い雨	土砂降り	小規模ながけ崩れが始まる
	30 ~ 50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	土砂災害の危険地帯では、避難の準備が必要
	50 ~ 80mm	非常に激しい雨	滝のように降る	土石流が起こりやすく、多くの災害が発生
	80mm ~	猛烈な雨	圧迫感、恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要



平成 16 年 8 月台風 16 号による被害 (牛窓町地内)

平成 2 年 9 月台風 19 号による被害 (邑久町地内)

台風 7 号から変わった温帯低気圧の影響により、暖かく湿った空気が供給され続けたことで、西日本上空に停滞していた前線が活発化し、7 月 9 日に北上して活動を弱めるまで日本上空に停滞したため、西日本を中心に記録的な大雨となりました。

この一連の大雨は「平成 30 年 7 月豪雨」と名付けられ、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。岡山県内では、床上、床下合わせて 1 万棟を超える住家の浸水被害が発生し、61 人の方が亡くなるなど平成になって最悪の被害をもたらした水害となりました。

瀬戸内市においては、大きな被害はなかったものの、干田川では氾濫危険水位を超え、また、吉井川においても避難判断水位を超えるなど、一時危険な状況もありました。

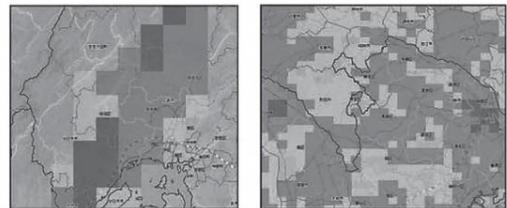
## 危険をあらかじめ知り、早めに避難するために

### 危険度分布や避難情報などを確認

気象庁では、災害発生の危険度を予測した分布図により、災害発生に対する警戒を呼び掛けています。警報などが発表された市町村域のうち、実際に土砂災害や水害発生の危険度が高まっている場所は、危険度分布で色分けして表示します。

土砂災害や水害で命に危険が及ぶ地域にお住まいの方は、危険度が高まる前に早めの避難をお願いします。また、市が発令する避難情報に注意し、早めに避難行動を行ってください。

#### 【危険度分布の例】



土砂災害警戒判定メッシュ情報 大雨警報 (浸水害) の危険度分布  
※災害発生の危険度の高まりを 5 段階に色分けして表示しています。

- ・土砂災害警戒判定メッシュ情報 <http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
- ・大雨警報 (浸水害) の危険度分布 <http://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

## 災害に備えて知っておくべきこと

### 避難に関する 3 つの情報

市は、災害が発生する危険性が高まった場合に、区域を示して避難勧告などの避難情報 (下表参照) を発令します。  
固危機管理課 ☎0869-22-3904

緊急度	避難情報種別	内容
↑	避難指示 (緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合 ・まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。 ・外出することで、かえって命に危険が及ぶような状況では、屋内安全確保も検討しましょう。
	避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合 ・速やかに避難場所へ避難をしましょう。
	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告や避難指示 (緊急) を発令することが予想される場合 ・避難に時間を要する人 (高齢者、障害のある人、乳幼児など) とその支援者は、避難を開始しましょう。また、その他の人は、避難の準備を整えましょう。

## 平成 30 年 7 月豪雨における瀬戸内市の対応

日 時	御休観測局 吉井川水系 水位 (m)	福里観測局 干田川水系 水位 (m)	体制および避難情報など対応状況
7 月 5 日	17:00	1.94	17:15 防災準備体制
	19:00	2.26	19:13 大雨警報 (土砂災害) が発表
	21:00	3.51	21:00 防災準備体制から防災注意体制に移行
7 月 6 日	8:00	3.89	8:30 気象台からの情報: 夕方から 7 日朝にかけて記録的大雨の恐れ、土砂災害に警戒、特別警報発令の可能性あり
	15:00	3.65	15:00 災害警戒本部設置 避難準備・高齢者等避難開始発令、避難所 5 か所開設
	23:00	5.29	23:00 干田川が避難判断水位 (3.20 m) に到達 23:10 大雨特別警報、大雨警報 (洪水) が発表 23:10 災害対策本部設置、市内全域に避難勧告発令
7 月 7 日	0:00	5.96	0:20 干田川が氾濫危険水位 (3.50m) に到達
	1:00	6.60	1:45 干田川流域に避難指示 (緊急) 発令
	3:00	7.75	2:30 吉井川が避難判断水位 (7.70m) に到達
	4:00		4:00 避難者数のピーク 60 世帯 127 人
	15:00	5.80	15:10 大雨特別警報、大雨警報 (洪水) が解除
	16:00	5.65	16:00 避難指示 (緊急) を解除 (干田川流域) ※干田川の水位が低下傾向となり、今後の大雨の可能性が低くなったため
	18:00	5.16	18:30 避難勧告を解除 (市内全域) ※今後の大雨の可能性が低くなったため
21:00	4.49	21:00 避難準備・高齢者等避難開始を解除 (市内全域) 避難所を全て閉鎖	

避難判断水位: 高齢者など避難に時間を要する人が避難を開始する目安となる水位  
氾濫危険水位: 河川が氾濫するおそれがあり、安全に避難するために避難を開始する目安となる水位

今後も避難に関する適切な情報を発信していきますので  
早めの避難を心掛けてください